



熱く 温かく

裾野市立東中学校だより 令和6年4月26日(金)

〈校訓〉 自主 ~誠実・清純・勤勉 ~
〈学校教育目標〉 未来に向かって 自分らしく 生きる人
〈キーワード〉 考える 対話する 多様性を認める

新入生誓いの言葉

始業してから約1か月が経とうとしています。初々しかった新入生も、日ごとに成長しています。ここで、誓いの言葉を紹介します。

誓いの言葉

(前略)

勉強だけでなく、コミュニケーション能力も高めたいです。自分の意見を伝えるためには、話す、という手段が一番大事だと考えています。小学校の時は、十六人という少ない人数で、みんなのことがわかっていだから、たくさん話ができました。ですが、中学校では、一学年百人以上の人とかかわりになってきます。だから、東小学校からの新一年生や中学校の先輩方、先生方とたくさんコミュニケーションをとって、たくさん自分の意見を伝えていきたいです。それに、わたしは口調が強くなってしまふことが多々あります。そのことを直すためにも、中学校でいろいろな人とたくさんコミュニケーションをとってほしいと思います。

今から始まる中学校生活は、私たちにとって人生のための新しい一歩です。これからの三年間、たくさんの喜びや大きな壁とたくさんの方が私たちを待ち受けていると思います。しかし、私には、頼れる仲間がいつばいいいます。小学校で学んだ、お互いを思いやる気持ちを大切にして、みんなで助け合い新しいことへ挑戦していきます。不安なこともあります。先生方や先輩方に助けをいただきながら、未来へ続く架け橋を歩んでいきます。

今日から、東中学校での三年間をたくさんの方の成長につなげ、笑顔で一日一日を過ごしていきたいと思ひます。

「今から始まる中学校生活は、私たちにとって人生のための新しい一歩です。」とありますが、このことは新一年生に限らず、東中生全員、そして、保護者の皆様や教職員にとっても言えることです。「喜び」も「壁」も、すべては未来に向かっての自分を成長させるものだと思います。

学校は、読み書きなどの勉強をするだけのところではありません。学校生活すべてが勉強・学びだと考えています。読み書きなどだけの勉強であれば、コンピュータなどでも学べる時代になりました。今ある職業の半分は無くなってしまふだろうと

言われる時代になりました。しかしながら「学校は無くならないだろう」と言われる理由は、コミュニケーション能力を養う場としての役割を担っているからではないでしょうか。「生身の人間とコミュニケーションをとる」ことは、今でも社会から強く求められていることのひとつです。そして、コミュニケーション能力を高めることは、自分の世界を広げる有効な手段となります。WANIMA さんの「やってみよう」の歌詞の中にも、「苦手な相手とも、話してみよう」「知らなかったこと、見たことないもの、あたらしい、楽しい」とあります。みんなで助け合い新しいことに挑戦してほしいと思います。



人生のための新しい一歩～誓いの言葉 入学式～

令和6年度校内組織（学年部、部活動等）

	1 年 部					2 年 部					3 年 部				
	氏名	教科	指導等	分掌	その他	氏名	教科	指導等	分掌	その他	氏名	教科	指導等	分掌	その他
学年主任	樋口 大輔	技	学年主任	生活		小林 はるみ	国	学年主任	特活		鈴木 理恵	英	学年主任	学習	
担任	八木 謙樹	社		研修	1組	大塚 友梨	体	研修主任	研修	4組 副主任	松永 真奈	数	学習支援 部長	学習	4組
担任	神井 清正	国		学習	2組	坂上 心汰	理		学習	3組	今泉 伸隆	社	生徒会	特活	3組
担任	伊倉智恵美	英	特活支援 部長	特活	3組 副主任	勝又 太陽	数	生徒会	特活	2組	勝又 浩介	理	生徒指導 主事		1組 副主任
担任						澤田 千慧	音	生活支援 部長	生活	1組	岡田 泰彦	国	進路指導 主事	生活	2組
東雲1・2・3	藤江 大輔	体		学習	東雲1組	新田 美沙	英	特別支援 コーディネーター	生活	東雲3組	今井 巧	美		研修	東雲2組
学年付	真野 夏帆	理		特活		高橋 浩美	英		研修		野月 真人	国		特活	
学年付	高橋 秀明	数		生活		狩野 高信	理		学習		鈴木 由佳子	家		生活	
他	丸山 雅人		指導員			朝妻 正昭	数	通級指導			遠藤 泰光	体	教務主任	研修	
	大石 陽子		養護教諭	生活		小濱 伸哉		教頭			細谷 昌充		校長		
事務員	松本 典子	鈴木 真史	今井 さやか			用務員	小島 逸喜				スクール・ サポート・ スタッフ	加藤 綾音			
スクール カウンセラー	小林 奈美					スクール・ ソーシャル・ ワーカー	長澤 由美子				特別支援充実 支援員	高梨 裕美			
コミュニティ・ スクール・ ディレクター	佐々木 裕子	市川 美津子				スクール・ コーディネーター	佐々木 裕子	市川 美津子			A L T	シンディ ジョイ			
学校運営 協議員	会長・副会長	萱沼 栄	古河 規子			委員	伊丹 圭子	勝又 智絵			細谷 昌充				
部活動	野球	神井 清正				男テニス	今泉 伸隆				吹奏楽	澤田 千慧			新田 美沙
			岡田 泰彦			女テニス	大塚 友梨			狩野 高信	美術	今井 巧			鈴木 理恵
	ソフト	勝又 太陽									文化総合	鈴木 理恵			今井 巧
	サッカー	八木 謙樹				男卓球	樋口 大輔			小林 はるみ					
	男バレー	伊倉 智恵美				女卓球	松永 真奈								
	女バレー	勝又 浩介				陸上	真野 夏帆			今井巧・鈴木理恵					
	男バスケ	坂上 心汰													
女バスケ	高橋 浩美				藤江 大輔										

「好き/得意」と「人の見ていないところで」

最近ある高校の校長先生、そしてスポーツクラブのコーチとの話で興味深かったことを紹介します。近隣のある高校では、今年度から生徒の「好き/得意」ととことん深めていく活動が取り入れられるそうです。これからの未来を生きる確かな力となっていくと信じているそうです。この力は、最近社会から強く求められていると考えます。そして、そのことを強く打ち出してきた高校の出現に心躍っています。この考えはどんどん広がっていくものと信じています。

また、近隣で全国大会にも出場しているクラブチームが、監督の見ていないところで、しっかりと生活できている選手の育成に努めていることを知り、大変うれしく思いました。また、やらされている練習ではなく、自分から(主体的に)取り組む練習が長ければ長い程、選手は伸びるともおっしゃっていました。これらのことは、かなり前から言われていることで、強い(良い)チームの条件として、3つの差(そのチームでの態度と普段の生活での態度の差、監督のしている前と見ていないところでの態度の差、レギュラーとレギュラーではない選手の意識の差)をなくすことにも意識を向け、チームづくりが進められています。そして、今をときめく大谷選手も、主体的に練習に取り組んでいたことは有名な話です。